

中・校・大学生！ 前のめりに脳トレ！

オープンラボ新聞



脳トレを出題する大上先生「お題：動物の名前を書けるだけ書いてください！！」



5月11日
OPEN LABO.の
ショート動画



発行人
StudioNoguchi



参加者は晴れやかな表情を浮かべる。



脳トレ三昧

令和7年5月11日（日）、本年度2回目のオープンラボが開催された。今回のテーマは「未来の脳科学者大集合 認知機能測定・脳トレにチャレンジ！」である。中高生だけでなく、大学生も参加し、前のめりに積極的に脳トレを楽しんだ。「簡単な問題から難しい問題まで楽しく答えて脳トレすることができました。特に、高齢者の運転免許の際に行う検査を実際にやったのが印象に残りました。」と、

認知機能測定・脳トレとは、固いイメージがありましたが、実際に体験してみると簡単な問題からひっかけのような問題など、色々な角度からの問題が出題されゲーム感覚でも楽しく体験することができました。問題を読んでいるはずなのに脳が先行して勝手に誤った情報を思い込んでしまい、正しく回答することが難しくなる場面もあり、スムーズに答えが出ないもどかしさや思考を巡らせる感覚は、新鮮で良い刺激となりました。このように刺激ある脳の使い方を日々心掛けることで、脳が鍛えられ、認知症予防に繋がるとともに、脳を若々しく保つことの大切さを改めて感じました。

今回も参加 職員の声



文系

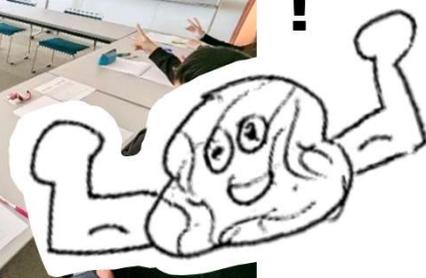
刺激により成長 脳は鍛えることができる！

先日の脳トレ体験で、脳を持つ無限の可能性を感じていただけたでしょうか。私たちの脳は、まるで筋力のように鍛えられ、刺激によって成長し続けます。記憶力アップのゲーム、集中力を養う訓練、論理思考を高めるパズル。これらは決して無駄な遊びではありません。日々の学びを深め、難解な問題を解き明かし、未来を切り開くための重要なステップなのです。この体験をきっかけに、脳を鍛える面白さを知り、自ら学び続ける意欲を持っていただければ幸いです。脳には、年齢に関わらず成長する力があります。さあ、共に楽しみながら、学び、成長していきましょう！（大上）

▽脳トレを体験して、自分の脳が鍛えられた感じがしました。自分が年をとったときに物事を正確に覚えたりできるように日ごろから脳トレを頑張ろうと思っていました。▽先生も明るくとても楽しかったです。▽色を答えるやつが面白かった。あかっけて書いてあると文字に引っ張られて「あお」って言っちゃう。▽未成年でも解くのが難しい問題があり、とても面白かったです。特に、文字の色を答える問題が文字にひっぱられてしまい難しかったです。

参加者の声

▽頭を使いながら実践することが多かったのですが、面白くて楽しかったです。頭がより活性化された気がします。▽来てくれた中学生・高校生（！）の目が輝いていました（大学生）！▽歌詞の間違いを見つるのが難しかった。▽皆で楽しくトレーニングを行うことで認知症予防になることはすぐくすばらしいものだと思います（大学生）。▽スタッフ側として参加しました。今後のプロジェクト学習で活かせる知識やポイントを得ることができました。次回は今回の経験を踏まえて臨みたい（大学生）。



覗いて・取り出して生物好き集まれ！



次回は6/8④ オープンラボの予約・詳細は右手のQRコードを読み取ってください→

分野：生物

「覗いてみよう！身近な生き物の世界」

担当：小濱 剛

(動物危機管理学科)

開催日 6月8日(日)
時間 13:00-14:30
場所 薬学部棟1階(集合)
定員 20名



理科の実験で使うことがある顕微鏡ですが、試料をきれいに観察するためには、顕微鏡の正しい操作方法を学ぶとともに、観察する試料を正しく処理する必要があります。今回のオープンラボでは、身近にあるさまざまなものを顕微鏡で見ることで、ミクロの世界を楽しく学びます。



顕微鏡の使用法を説明する小濱先生

24年度にこの講座を受講した方の感想

- ◆顕微鏡のピントを合わせるのは、とてつもなく難しく、できたときはとても嬉しかった。
- ◆細胞をそだてたり、分裂させたりと、あいちゃくがわく気がします。
- ◆色をつけたり細胞を比べたりするのが楽しかったです。またやってみたいです。
- ◆指導してくれた学生さんが、受験の相談や雑談に付き合ってくれました。
- ◆本当にヨーグルトには生きた菌が入っていることが知れて、嬉しかったです。

分野：生物

「DNAを取り出して観察しよう！」

担当：岡本能弘

(薬学科)

開催日 6月8日(日)
時間 15:00-16:30
場所 薬学部棟1階(集合)
定員 20名



ヒトの細胞にはDNA（デオキシリボ核酸）があり、そのDNAは遺伝子を構成しています。この遺伝子が人間の目や鼻や口や耳などを作る設計図になっています。背が高い人、低い人、かぜをひきやすい人、まったく風邪をひかない人など・・・これらは遺伝子が異なるためです。したがって遺伝子を調べると個人差や病気の原因解明につながります。

遺伝子を調べるには、その人の細胞からDNAをとりだすことが必要です。DNAについて学び、生物の細胞から実際にDNAを取り出す実験を体験しましょう。

今回は実験材料として様々な食材をたくさん準備させていただきます。どの材料を使うとたくさんDNAをとれるか試してみましよう。この実験をとおして遺伝子、DNAについての理解を深めていただけると嬉しいです。



UVを照射して取り出したDNA（オレンジ色に光る）を観察